

現 場 説 明 書 及 び 現 場 説 明 に 対 す る 質 問 回 答 書

工事名	中央浄化センター水処理施設撤去外工事
-----	--------------------

質 問 事 項

回 答

1. 図面番号 C2-14「暫定雨水滞水池躯体改造断面図(3)」に記されたスラブ閉塞について、型枠支保工が必要と思われますが参考資料のどこに計上されているのでしょうか。

1. 受注後の調査により、必要に応じて協議の対象とします。

2. 図面番号 C2-15「暫定雨水滞水池躯体改造断面図(1)」A-A 断面図・B-B 断面図に記された「無筋コンクリート打設」は最大 60cm の厚さであり、打設時の足場として鋼材による架台（コンクリート内に残置）を、コンクリート厚 30cm 程度となる位置まで全面に組む必要がありますが、変更の対象となるのでしょうか。
また、φ250 管内の「無収縮モルタル詰め」は参考資料のどこに計上されているのでしょうか。

2. 受注後の調査により、必要に応じて協議の対象とします。
また、φ250 管内の「無収縮モルタル詰め」は単-80 内「モルタル練」に含めて計上しております。

3. 図面番号 C2-16「暫定雨水滞水池躯体改造断面図(2)」F-F 断面図に記された「開口部モルタル閉塞」とは、576 箇所の円形部分を手練のモルタルで埋める処理と考えてよろしいでしょうか。若しくは水密性のある充填処理でしょうか。
参考資料における計上は「単-80 号：モルタル練×1 m³」でしょうか。詳細寸法が記されていないため明確ではありませんが、1 m³では不足と思われます。また、閉塞の工事費はどこに計上されているのでしょうか。

3. 図面番号 C2-16 内 F-F 断面記載のとおり、開口モルタル閉塞対象は整流壁中央部の 142 箇所となり、ご質問のとおり手練のモルタルで閉塞する処理を考えています。当該作業については、材工共で単-80 内「モルタル練」に含めて計上しております。